

●豊後高田市の白ねぎ産地の紹介

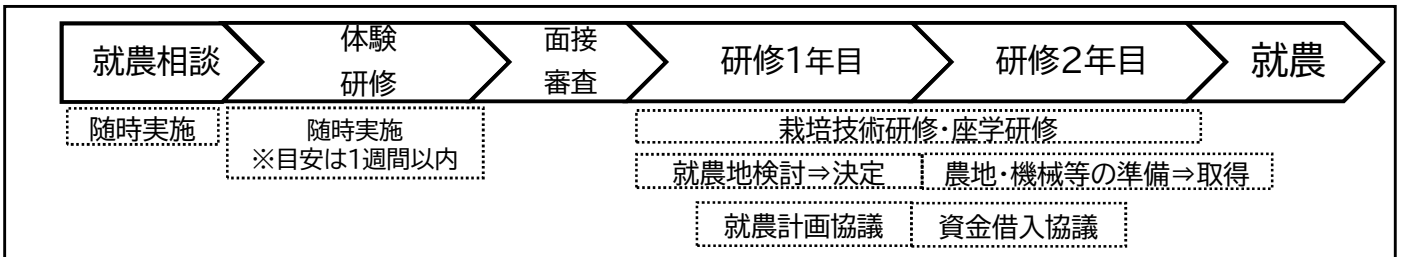
- ・豊後高田市の農業生産額の4分の1を占める主要作物で、栽培面積が約380haと西日本有数の産地です。
- ・砂質土壌の干拓地域を中心に周年栽培が行われており、1経営体あたりの経営規模が大きい土地利用型作物です。
- ・作型を組み合わせることにより1年を通じて出荷が可能です。近年では、栽培が難しい夏場の高温期に高原地域で栽培します。
- ・白ねぎ栽培は、出荷調製作業に最も労力がかかります。出荷量が少ない夏場には、ぶどう、落花生、ホオズキ等の他の品目を栽培する複合経営を行っている農家もいます。



●白ねぎの栽培スケジュール

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
作型①		播種		定植	栽培管理						収穫開始		
	収穫・出荷												
作型②				播種						定植	栽培管理		
	収穫開始	収穫・出荷											
作型③										播種		定植	
	栽培管理				収穫・出荷								
作型④											播種		
		定植	栽培管理					収穫・出荷					

●就農までの流れ



●経営目標

就農5年目の経営目標
品目・規模・収量(単収/10a)
・白ねぎ・200a・48t(2,400kg)
販売額・所得
・販売額 1,632万円 ・所得 252万円
従事者
・家族 2人 ・雇用 1人 (11月～5月)

・規模拡大
・単収増加
・雇用増

モデル経営体の経営目標
品目・規模・収量(単収/10a)
・白ねぎ・300a・72t(2,400kg)
販売額・所得
・販売額 2,448万円 ・所得 486万円
従事者
・家族 2人 ・雇用 2人 (9月～6月)

※減価償却費は所得に含む

※経営目標はあくまでも目標であり、保証するものではありません。

●モデル経営体の紹介

- 【氏名】和泉 陣氏（47歳・就農コーチ）
就農24年目（H11.親元就農→H19継承）
- 【経営概要】白ねぎ 300a ぶどう 200a
構成員：家族4名+雇用（正規2名、パート6名）
販路：JA共販
- 【研修受入実績】M氏（40代・東京都からUターン）
研修期間：H25.6～H26.3 就農：H26.4～
- 【メッセージ】
技術力や時代を読む力を磨いて、常に改善・挑戦をしながら経営しています。
時代で変化する消費者の期待に応え、誇りを持ち、健康で楽しい農業を！



●私たちがサポートします ～技術習得から就農までのサポート体制～

サポートチームによる研修状況確認

【活動】・北部振興局や市役所等によるサポートチームで現地確認を毎月実施

JAおおいた豊後高田白葱生産部会

【活動】・栽培技術の研修会、先進地視察、出荷規格の目揃え会等



<研修会>



<目揃い会>

就農コーチ

部会の中でも高い技術力をもつ生産者がコーチとなり、コーチのほ場で、実際に栽培に携わりながら、栽培技術や調整の方法を学びます。



●豊後高田市の支援策

- 豊後高田市アグリチャレンジスクール（新規就農コース）※随時募集
研修期間1～2年（研修生1～2組募集（1組2名以内））
- 【研修期間中の支援】新規就農支援事業
- ・家賃助成事業：研修中の家賃半額助成（補助上限25千円/月）
 - ・生活支援事業：研修1年目の生活支援助成（定額25千円/月）
- 【就農時の支援】
- ・新規就農者自立支援事業：独立自営就農する際に必要な資材等の自立購入費用の一部助成（定額20万円）
 - ・その他、経営計画の作成支援、補助事業等
- 【移住支援】
- ・市内の宿泊施設で”お試し”居住をしながら、体験見極め研修や空き家・市営住宅の見学、移住準備等
- 【子育て支援】
- ・子育て世帯の引越し費用助成、出産祝い金、市営の無料塾等

●産地が求める人材

- ①独立自営就農の意欲が高い方
 - ②積極的・自発的に取り組める方
 - ③地域との交流ができる方
（その他要件）
- ・就農予定時の年齢が50歳未満であること
 - ・市内に在住して研修を受け、研修終了後、市内で就農、定住すること
 - ・研修期間中に最低限必要な生活費があること
 - ・経営開始時に必要な資金や労働力を有している、または調達できる見込みがあること
- ※他にも要件がありますので、詳細は個別にご相談ください。
- ・研修生1～2組募集（1組2名以内）

●問い合わせ先

豊後高田市役所 農業振興課
〒879-0692 豊後高田市是永町39番地3
TEL:0978-25-6243 FAX:0978-24-0250
ホームページ: <https://city.bungotakada.oita.jp>

